

# 令和3年度シラバス

## 作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害治療学演習Ⅱ		演習・講義	小田 佳子・岡田 誠暁・中田 修 宮下 悠紀・福林 秀幸・中村 由果理	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
身体障害領域、特に整形外科系で行われる作業療法の治療原理について学ぶ。具体的には、廃用症候群に対するプログラム、感覚・知覚再教育、自助具作成、スプリント、吸引法、物理療法について学ぶ。知識に基づいた技術の獲得を目指す。				
授業の到達目標				
1. 各作業療法プログラムの意義、目的、方法について説明ができる。 2. 自助具作成を行うことができる。 3. スプリント作成を行うことができる。 4. 吸引の仕方を説明できる。 5. 物理療法について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	廃用症候群とその対応			
2	廃用症候群とその対応			
3	感覚・知覚再教育【中田】			
4	感覚・知覚再教育【中田】			
5	自助具作成			
6	自助具作成			
7	スプリント療法の概要【宮下】			
8	スプリントの製作（背側カックアップスプリント①）【宮下】			
9	スプリントの製作（背側カックアップスプリント②）【宮下】			
10	スプリントの製作（短対立スプリント①）【宮下】			
11	スプリントの製作（短対立スプリント②）【宮下】			
12	スプリントの製作（ジョイントジャックスプリント）【宮下】			
13	吸引法【中村】			
14	物理療法【福林】			
15	物理療法【福林】			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	50%	自助具、スプリント作成の結果で評価を行う		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第3版	山口昇 他編		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				